

科目名	実習・演習 3								年度	2025
英語科目名	Training and exercises3								学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必／選	必	時間数	180	単位数	6	種別※	実習	
担当教員	倉本淳二・丸山浩司			教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア	
【科目の目的】										
マイクロフォンの適切な使い方をマスターする。現場さながらのスタジオワークを通して、準備・セッティング・チェック・音作り・レコーディング・オーバーダビング・ミックスといった様々な項目をグループワークを通して、各々の役割も把握する。またエンジニア以外のスタッフ、ミュージシャンとも適切なコミュニケーションが取れる。楽器やアーティストの声を聞き分けて適切なエフェクト処理を行い、ミックスを完成させる。										
【科目の概要】										
演習においては講義形式でスタジオ機器・スタジオワーク・音作りについて学ぶ。スタジオワーク授業回によってアーティストとともに実習する。その際はアーティストの立場や作りたい音をよく考え、アーティストに信頼されるエンジニアになるための姿勢も学ぶ。										
【到達目標】										
A：スタジオ機器の理解・活用 B：アーティストやスタッフとの円滑なコミュニケーション C：素早く正確なセッティング D：エフェクターの活用と理解 E：ミックスダウンとマスタリングの技術向上										
【授業の注意点】										
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	スタジオシステム全体を理解している			ミキサー卓を活用できる			システムがわからない			
到達目標 B	録音の流れを先読みできる			楽譜が追える			ミュージシャンと会話できない			
到達目標 C	数人で4リズムセッティング・回線チェック・CUE送りができる			グループで4リズムのマイクセッティングができる			セッティングができない			
到達目標 D	目的にあったエフェクトを使える			適切なコンプレッサーが使える			エフェクターのセッティングができない			
到達目標 E	公開できるレベルのミックス、マスタリングが出来ている			音色・音量のバランスが取れる			音が並んでいるだけ			
【教科書】										

適宜プリントを配布								
【参考資料】								
特になし								
【成績の評価方法・評価基準】								
評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。								
科目名		実習・演習 3				年度	2025	
英語表記		Training and exercises3				学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	1年次の復習	スタジオ作業の基本確認	1	エンジニアの知識確認	電気・様々なオーディオフォーマット・PC関連の知識がわかる。			
			2	マイクロフォンの確認	学内にあるマイクロフォンの機能と種類がわかる。			
			3	マイクロフォンの紹介	マイクロフォンのメーカー、代表的なマイクがわかる。			
2	マイクセッティング	マイクロホンのセッティング方法の確認	1	マイクロフォンの選定	ドラムとピアノに合わせたメーカー別、目的別に班分け、自分のベストセッティングができる。			
			2	ドラムの音源をつくる	様々なマイク、セッティングにより、単音を収録できる。			
			3	ピアノの音を比べる	様々なマイクセッティングにより、ピアノのを收音し、聞き比べることができる。			
3	ミキサー卓の理解	ミキサー卓の理解	1	アナログ卓復習	SSL社 4000E (SSLのブロックダイアグラムを理解) が使える。			
			2	アナログ卓復習	スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる。			
			3	デジタルシステム卓復習	SSL社 DUALITYの操作方法を通してデジタル卓について復習し、操作できる。			
4	アーティストとのコミュニケーション	アーティスト側の理解	1	アーティストの立場を研究	スタジオ、ライブ、パートごとのモニターの目的がわかる。			
			2	アーティストの立場を研究	モニターの研究。アーティストに合わせたモニターづくりができる。			
			3	リズムセッティング1	バンドレコーディングのセッティングがスムーズにできる。			
5	リズムセッティングのマスター	円滑なバンドセッティング	1	リズムセッティング2	セッティングと回線チェックが素早く、正確にできる			
			2	バンドセッティング1	いくつかのバンド編成をもとに回線図、準備図を書ける。			
			3	バンドセッティング2	マイクロフォンの選び方、セッティング方法、が適切にできる。			
6	ボーカル録音	ボーカルの録音と処理の確認	1	ボーカルダビングセッティング	指定された音源へスムーズにボーカル録音ができる。			
			2	ボーカルダビング・エディット	録音したボーカルを整音できる。			
			3	ピアノの音作り	ピアノの音のエフェクトを駆使して音作りできる。			
7	ギター録音	ギターの音作り	1	ギターの音作り1	楽器に付いての知識、マイク、ラインの違い、各種音の特徴についてわかる。			
			2	ギターの音作り2	ギターの音のエフェクトを駆使して音作りできる。			
			3	ギターの音作り3	エレキ、アコースティック、様々なマイク、録りかたがわかる。			
8	アーティストとのコミュニケーション	アーティストとのコミュニケーション確立	1	アーティストとのコラボレーション1	レコーディングエンジニアとしての仕事の発掘、バンドとの関わり方がわかる。			
			2	アーティストとのコラボレーション2	様々なバンドのミックスを考察する。メーターとの関係もわかる。			
			3	レコーディング	楽曲レコーディングがスムーズにできる。			
9	バンドレコーディング	アーティストとのコラボレーション	1	R科バンドレコーディング 1	フォーリズムのレコーディングができる。			
			2	R科バンドレコーディング 2	録音データのエディット・ミックスができる。			
			3	オーバーダビング	録音された音源へ様々な音を適切にオーバーダビングできる。			
10	バンドレコーディング2	アーティストとのコラボレーション	1	バンドセッティング復習	4リズムのセッティングを細かく考察する。グループごと素早くセッティングができる。			
			2	セッティングタイムトライアル	セッティング回の復習を元に、より早くきれいにセッティングできる。			
			3	ドラムの音作り	ドラムの音のエフェクトを駆使して音作りできる。			

11	スタジオの基本復習	スタジオシステムの確認	1	CD試聴会	教員、学生とも良い音のCDをお互いに試聴し、プレゼンできる。		
			2	ミキサー卓全般の確認	デジタル、アナログ両方の概念、操作方法が解る。		
			3	スタジオの構造	もし自分がスタジオを建てたなら？スタジオの構造、各機器の金額、立地など条件がわかる。		
12	コンプレッサーの理解	コンプレッサーの使い方の理解	1	エフェクター 1	多用なエフェクターを使った音作りができる。		
			2	コンプレッサー・リミッター研究1	コンプレッサーなどダイナミクス系のエフェクターが使えるようになる。		
			3	コンプレッサー・リミッター研究2	音源を元に様々な音を作ることができる。		
13	リバーブの理解	リバーブの活用方法の理解	1	リバーブ研究1	リバーブや空間系のエフェクターの使い方がわかる。		
			2	リバーブ研究2	サンプリング音源を元に様々なリバーブの音を聞き分けることができる。		
			3	エフェクター 2	記載以外のよく使われるエフェクターについても使えるようになる。		
14	エフェクターの種類	様々なエフェクターの種類の理解	1	エフェクター 3	多用なエフェクターを使った音作りができる。		
			2	エフェクター 4	各エフェクターの特徴を知る。		
			3	MIXDOWN	各楽器音の関係を考慮しながらミックスダウンできる。		
15	発表と視聴	作品の発表	1	文化祭に向けて	レコーディングエンジニア専攻らしいイベント、発表を検討する。		
			2	教育成果発表会（文化祭に向けて2）	レコーディングエンジニア専攻らしいイベント、発表の準備。		
			3	まとめと試聴	前期のまとめ、各自も持ち寄った音源、音の取り方についてプレゼン、試聴。		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							